

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
清水克時
高岸 憲二
土屋 弘行
戸山 芳昭
内藤正俊
吉川 秀樹

編集同人

井形高明 澤村 誠志
生田義和 田辺 剛造
井樋栄二 田畑四郎
岩田 久 玉置哲也
岩本幸英 中村耕三
大井利夫 馬場久敏
小野村敏信 浜西千秋
加藤博之 廣谷速人
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
楠田喜三郎 持田讓治
酒匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

今月は熱中症のピークで、不帰の転帰をとる年配の犠牲者が増えていきます。確かにわが国では65歳以上の高齢者の割合が世界に類を見ないスピードで高くなっています。1950年、4.9%であった高齢化率が100年後の2050年には8倍を超える39.4%に達すると推計されています。平均寿命も延びています。1950年では男性58.0歳、女性61.5歳でしたが、2050年の予測は男性83.6歳、女性90.3歳となっています。20歳から64歳までの現役世代と高齢者の比の推移は、1950年では10対1であったのが2005年に3対1となり、2050年には1.2対1になる見込みです。驚くべき勢いで少子超高齢社会に向かっていきます。

さて、本号のシンポジウムは、競技レベルのスポーツ選手に起こる「難治性足部スポーツ傷害の治療」です。日本を代表する専門家により、主な足部傷害の解剖学的特徴から術後のリハビリテーションまでわかりやすく解説されています。判断に迷うハイレベルのアスリートでの治療方法のコツや、スポーツへの復帰時期についての知識を得る絶好の機会です。急増している人工股関節置換術の術後の股関節機能の改善と排尿機能との関連を検討した論文も掲載されています。患者の訴えに基づいた斬新な視点での研究成果です。「手術手技 私のくふう」には股関節外科学の泰斗であられる糸満盛憲先生の創意工夫に満ちた論文もあります。「ビスホスホネートによる非定型大腿骨骨折」も「整形外科知っているつもり」で取り上げられています。超高齢社会となっているわが国では必須の知識です。連載、臨床経験、症例報告にも豊富な話題が満載です。

わが国の高齢者の増加を社会福祉的に言えば、高齢者1人を10人の現役世代で支えた約60年前の「胴上げ」型社会から「騎馬戦」型社会に移行し、40年後には「肩車」型社会となります。シニア世代が天寿を全うする間際まで健康で自立した生活ができるようにする取り組みが喫緊の課題です。一方、2010年の介護が必要となった主な原因を要介護度別にみると、要支援者では「関節疾患」が第1位です。要介護者でも「骨折・転倒」が第4位、「関節疾患」が第5位となっています。今後、ますます整形外科医の役割が拡大し重要性を増します。常に知識の革新やup-to-dateな情報に接しておくことが不可欠となっています。そのためにも「臨床整形外科」を伴侶として、引き続きご愛読お願い致します。(内藤正俊)

臨床整形外科 (第47巻第8号)

2012年8月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2012年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・【JCOPY】(株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。